

平成29年度

北海道高等学校進路指導協議会
第2回理事研究協議会資料

北海道経済部労働政策局雇用労政課

【配布資料】

- 資料1 H29若年者就職促進対策
- 資料2 平成30年3月卒業見込／未内定者に対するカウンセリングについて
- 資料3 じもと×しごと発見フェア開催レポート

H29 若年者就職促進対策

【30年3月新卒対策】（主なもの）

（1）新規学卒未内定者に対するカウンセリングの実施 【ジョブカフェ事業】

- ・在学中の就職内定を促進するため札幌のほか地方拠点において実施（11月～3月）

（2）新規学卒未就職者に対する相談の実施 【ジョブカフェ事業】

- ・未就職卒業者の早期就職を促進するため札幌のほか地方拠点において実施（4月～6月）

（3）平成29年3月高卒未就職者の未内定理由・現状の調査

- ・道教委などの協力により4月～6月末現在の状況について調査を実施。

（4）求人要請の実施

- ・国や教育庁と連携し、求人受付開始時期に主要経済5団体へ求人要請を実施。

（5）サマージョブカフェの実施 【ジョブカフェ事業】

- ・高校3年生を対象に就職相談やセミナーを実施（6地域363名参加）

（6）地域における新規高卒予定社等合同就職面接会の開催

- ・札幌ほか9地域において各振興局とハローワークの共催で開催

（7）合同就職説明会等の情報発信（随時）

- ・道のホームページに掲載

平成30年3月卒業見込／未内定者に対するカウンセリングについて

(H29年11月1日～H30年1月20日／ジョブカフェ北海道実施分)

■対象者カウンセリング数(全地域)

単位:人

	11/1～11/30				12/1～12/31				1/1～1/20				累 計			
	高校	短大 専門	大学	計	高校	短大 専門	大学	計	高校	短大 専門	大学	計	高校	短大 専門	大学	計
札幌	1	11	19	31	0	3	4	7	0	3	4	7	1	17	27	45
地方	7	2	2	11	1	4	3	8	0	0	1	1	8	6	6	20
計	8	13	21	42	1	7	7	15	0	3	5	8	9	23	33	65

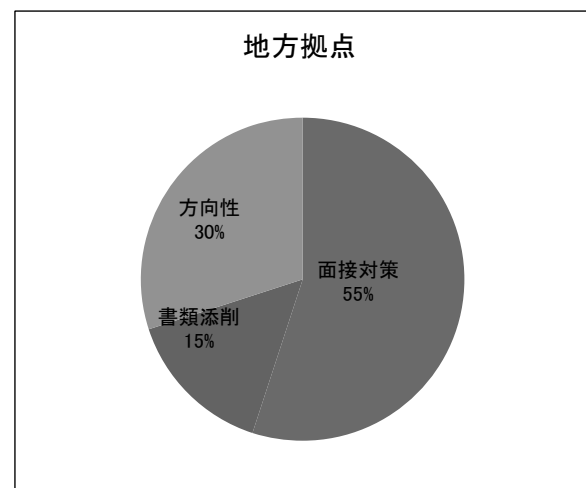
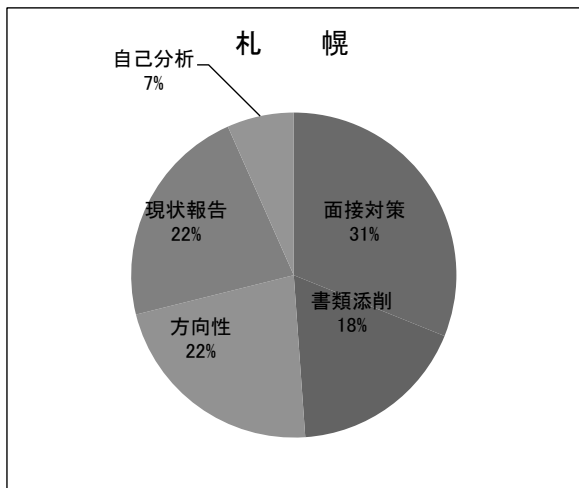
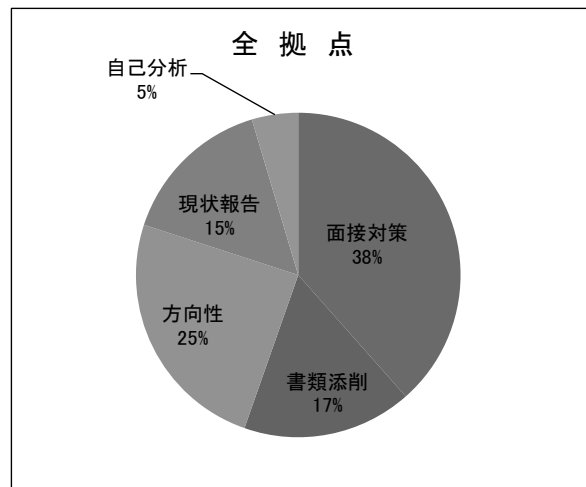
■対象者カウンセリング数(地方拠点内訳)

単位:人

	11/1～11/30				12/1～12/31				1/1～1/20				累 計			
	高校	短大 専門	大学	計	高校	短大 専門	大学	計	高校	短大 専門	大学	計	高校	短大 専門	大学	計
函館	0	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	3
旭川	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帯広	0	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	0	1	3	0	4
北見	2	1	1	4	0	1	2	3	0	0	1	1	2	2	4	8
計	7	2	2	11	1	4	3	8	0	0	1	1	8	6	6	20

■上記利用者の相談内容(傾向)

	札幌		地方		全拠点	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
面接対策	14	31%	11	55%	25	38%
書類添削	8	18%	3	15%	11	17%
方向性	10	22%	6	30%	16	25%
情報提供	0	0%	0	0%	0	0%
現状報告	10	22%	0	0%	10	15%
自己分析	3	7%	0	0%	3	5%
合計	45		20		65	



■前年比:札幌累計▲11(80.3%) 地方累計▲15(57.1%)

■前年比:函館累計+3、旭川▲13、釧路▲9、帯広▲1、北見+5

じもと×しごとと発見フェア

開催レポート

主催：北海道 共催：各地域雇用ネットワーク会議
受託：キャリアバンク株式会社

●じもと×しごとと発見フェアとは

就職活動をはじめめる前や就職先を決定する際に、地域の仕事や企業を広く知るための、企業展示会です。

地元の企業などが自社で扱っている製品や写真等を展示したり、実演や体験などを交え仕事内容を紹介します。

平成29年度は、道内16カ所で開催します。

開催場所	日程	出展企業等数	参加者数
帯広市	8/2 (木)	47社	75人
札幌市	9/22 (金)	28社	163人
江差町	9/26 (金)	15社	71人
北見市	10/24 (火)	26社	293人
新ひだか町	10/26 (木)	17社	225人
留萌市	11/2 (木)	13社	52人
稚内市	11/6 (月)	15社	105人
旭川市	11/16 (木)	40社	281人
釧路市	12/6 (水)	27社	215人
函館市	12/15 (金)	15社	49人
小樽市	1/29 (月)	13社	97人
根室市	2/1 (木)	8社	26人
中標津町	2/2 (金)	24社	46人
岩見沢市	2/5 (月)	34社	450人
苫小牧市	2/13 (火)	-	-
室蘭市	2/16 (金)	-	-
10カ所開催 (2カ所未集計)		322社	2,078人
平成28年度 (15カ所開催)		269社	1,654人

●若年者の早期離職の防止が狙い

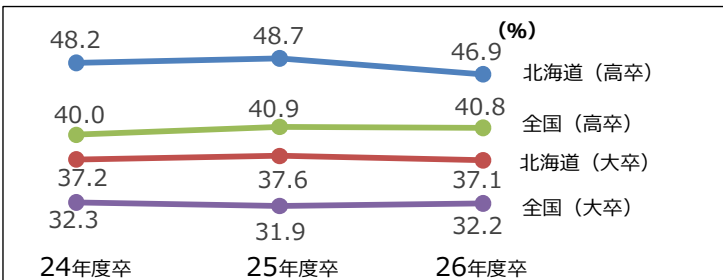
「じもと×しごとと発見フェア」の実施の背景には、本道の新規学卒者の早期離職率の高さがあります。

高卒では46.9%、大卒では37.1%が卒業後3年以内に離職しており、全国と比べ、いずれも高い状況です。

若年者の早期離職は、本人のキャリア形成はもちろんのこと、地域経済を担う人材確保や人材流出の観点からも問題であり、早期離職の要因のひとつに、就職活動時の企業情報の不足が挙げられます。

若者の職場定着に向けては、就職活動をはじめめる前から地域の仕事や企業を広く知り、こうした情報をもとに志望職種や企業を適確に絞り、就職活動に進むことが重要であることから、就職活動前の学生をはじめ、未内定者や既卒未就職者を対象に、地元の企業が一堂に会し、産業や企業の魅力を発信する「じもと×しごとと発見フェア」を開催しました。

学卒者卒業後3年以内離職率



出展：北海道労働局（新規学校卒業者の過去3か年度の在職期間別離職状況）

●開催当日の状況

「じもと×しごとと発見フェア」は求人内容を説明する合同企業説明会とは違い、【仕事内容】を紹介する場です。自社の仕事や魅力を知ってもらおうと、各地で様々な体験型ブースが用意されました。



一本〇万円もの牛タンです。何本も惜しげもなく切り分け商品知識から、お客様に提供するまでを体験できました。でも、さすがに食べることはできませんでした。

会場いっぱいに美味しそうなおいが広がりました。説明で自社商品への愛着、知識、誇りが感じられます。あとは、簡単調理した商品をいただき、更に納得。



クリーニングの体験ブースで、染み抜きを体験しています。特殊な薬液を使わなくても、簡単にきれいになってしまう技術に歓声が上がっていました。

介護関係ブースでは、最新の介護ロボットを体験しました。腰に装着することにより足腰の負担を大幅に軽減します。労働環境改善に大きな期待が寄せられています。



警察ブースです。瓶に付いた指紋を採取しています。ほかにも、手錠をかけたり、警棒を持ったり、制服を試着したりと、様々な体験が出来ました。

この他にも、信用金庫ブースでの疑似紙幣を用いたお金の数え方のレクチャーや、JAブースでの地元農産物を使った食品の試食、建設業ブースでの測量体験、消防ブースではレスキュー隊の装備を装着、宿泊施設ブースでの外国人スタッフとの英会話、スーパーマーケット事業者ブースでの商品のラッピング体験など、仕事や業種によって出展内容は様々です。

また、新入社員を説明者としていた出展企業もあり、年の近い先輩からの話とあってか、学生からは人気がありました。





●平成28年度参加学生アンケート結果 (n=1,611)

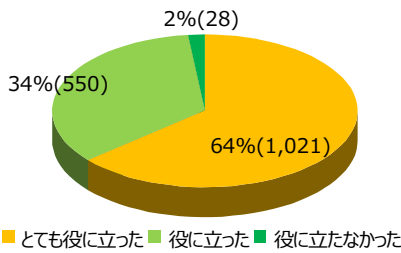
参加学生アンケートによると、98%の学生が進路選択の役に立ったと回答しており、役に立った事項としては「知らなかった仕事を知ることが出来た」(66%)、「ブースでの説明」(65%)、「ブースの企業担当者が楽しかった・面白かった」(58%)が上位。

参加学生のうち、地元で働きたいと回答した学生の割合は63%で、地元を出たいと回答した学生の割合28%を上回る。

地元を出たいと回答した学生(447)のうち、いつか地元に戻りたいと回答した学生の割合は54%(241)で、地元に戻るつもりはないと回答した学生の割合24%(109)を上回る。

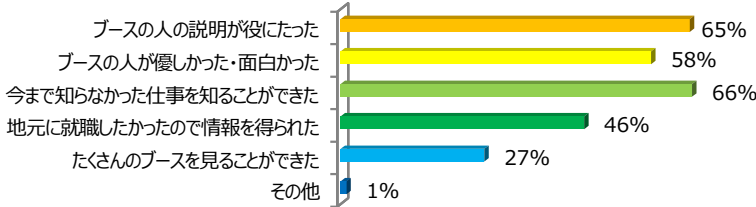
参加学生の現在の職業観について、回答の割合が高い順では、「好きな仕事を選びたい」(39%)、「会社の雰囲気重視したい」(32%)、「勤務地にこだわりたい」(23%)、「給与を重視」(8%)となった。

(1) 今回のフェアは今後の進路選択に役に立ちましたか？

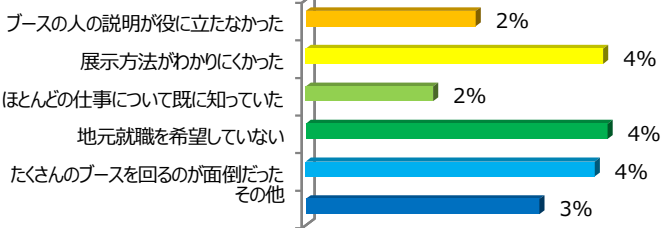


「とても役に立った」が70%超の地域は日高・上川・渡島・釧路・根室・中標津・オホーツク・胆振。「役に立たなかった」の半数以上(28人中15人)が参加者数が300名を超えた空知での回答。

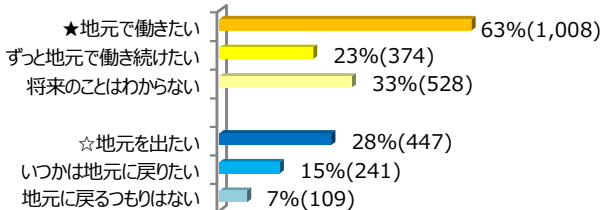
(2)-1 とても役に立った、役に立ったと回答した方は、どのようなことが役に立ちましたか？(複数回答)



(2)-2 役に立たなかったと回答した方は、なぜ役に立ちませんでしたか？(複数回答)

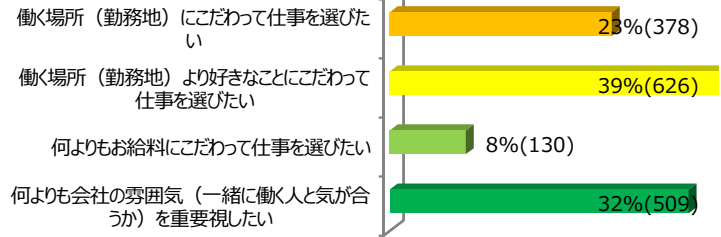


(3) 現在の考えはどれに当てはまりますか？



日高のみ「地元を出たい」という意見の方が多かった。留萌・檜山は同数。比較的都市部では「地元で働きたい」が多い。

(4) 仕事・働くことについてどう思いますか？ 一番考えに合う項目を一つ選択してください。



「勤務地にこだわりたい」が多かった地域は渡島・宗谷・釧路・檜山・空知・中標津。

(5) 参加学生の様子

参加学生に話を聞くと、大多数が楽しかったと答えてくれました。特に、企業の方の「話」が面白かったとの声が多く、試食・試飲といった「体験」そのものが面白かったという声は多くない印象です。実際に、話す内容を事前に準備し、生徒に向かって熱心に説明しているブースが人気でした。

ブースを訪問している際、「次、どこに行こうか」と楽しそうに話をしているところに耳を傾けると、「このブースに行ってみよう」という声が聞こえてきます。特定のブースの話を聞きたいという意志があるように見受けられ、仕事のイメージが付きやすいブースを訪問している印象でした。一方で、「このブースに行きたくない」という声は聞こえてきませんでした。また、1、2社訪問して飽きてしまう生徒はあまりいませんでした。

1ブースに学生が集中し、説明を受ける人数が多くなりすぎると、学生に当事者意識に欠けてしまい、集中力が無くなってしまいうように見えました。逆に、ブースで説明を受ける人数が少なすぎると、学生・企業ともに、かしまってしまうように見えました。

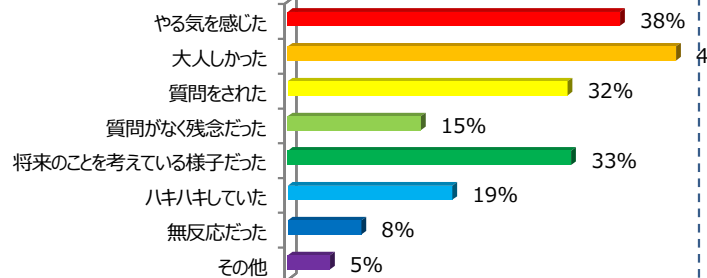
独りで説明しているブースより、2-3人で説明しているブースの方が、学生は訪問しやすいようでした。

●平成28年度出展企業等アンケート結果 (n=248)

企業アンケートによると、ブース訪問者の印象について、「大人しかった」(45%)、「やる気を感じた」(38%)、「将来のことを考えている様子だった」(33%)が上位。各地域によって、参加学生数や当日の雰囲気異なるため、結果にばらつきがでた。

展示会方式での運営については、大多数が良いと回答。「仕事を知ってもらえる良い機会」「自由にPR出来る」「生徒との距離が近く話しやすい」などの声がありました。

(1) 本日のブース訪問者の印象をお聞きます。(複数回答)



(2) 展示会方式での運営について

